

福島大学 大学院 地域デザイン科学研究科
地域公共政策プログラム

地域を知る、
持続可能な地域を描く、
育てる
地域を実現する

福島

Past | Future

2023



地域デザイン科学研究科 地域公共政策プログラム

地域の公共政策を担う人材を目指す専攻横断プログラム

地域公共政策プログラムは、2022年度に開講した大学院修士課程のプログラムです。現代の地域社会が抱える複雑な問題の解決には、従来の学問分野の枠組みを超えた幅広い知識と能力が求められています。このプログラムでは、経済学、経営学、法学、行政学、政治学、社会学などを総合的に学び専門知と実践知を身につけ、地域の持続可能な発展を支える公共政策を多角的な観点から構想し、実践する人材育成を目指します。

【地域デザイン科学研究科 地域公共政策プログラムの特徴】

①2つの専攻による共同運営プログラム

経済経営専攻と地域政策科学専攻による共同運営プログラムです。専攻を横断して、経済学、経営学、法学、行政学、政治学、社会学など多様な科目を受講することによって、地域の公共政策について、体系的な知識を身につけ、多様な視点をもって考える力を養うことができます。

②フレキシブルな科目の開講時間と授業方法

地域公共政策プログラムの科目については、受講生の希望に応じて開講時間と授業方法を調整します。社会人向けに仕事と学業を両立できるように、オンラインで受講できるよう配慮します。

③院生同士の交流の機会

中間・最終報告会は公開で行い、院生や教員などさまざまな人からアドバイスを受ける機会となります。

【プログラム修了要件】

対象科目群の中から、経済経営専攻の科目を4科目8単位以上、他専攻科目を2科目4単位以上修得することがプログラム修了要件です。対象科目については、地域デザイン科学研究科経済経営専攻のHPに掲載されています。次のQRコードからアクセスして確認してください。



Check! →

【履修モデル】

分析手法を身につける

計量経済学特殊研究I・II
社会調査I・II

地域を知る

公共経済学特殊研究
地域経済論特殊研究
地域政策論特殊研究II
財政学特殊研究
地方自治法I・II
行政学I・II
地域社会と歴史III・IV
地域社会学I・II

経済を知る

現代資本主義特殊研究I・II
ミクロ経済学特殊研究I・II
マクロ経済学特殊研究I・II

テーマで学ぶ

環境配慮型地域づくり

環境経済学特殊研究
地域政策論特殊研究I
地域環境論I・II

多文化社会・人権

労働と福祉特殊研究
地域社会とジェンダー I・II
地域福祉論I・II

コミュニティビジネス

特講(地域企業経営)
特講(リーダーシップ)
社会計画I・II

市民参加

特講(地域デザイン)
現代政治論
政治学原論

教員紹介・出前講座案内

地域公共政策プログラムに関わる教員は、大学院での講義のほかに出前講座も行います。教員の知見や経験を活かして地域の課題発見・解決に役立つ考え方や方法などについて講義します。セミナー、グループ研究、学習会など希望するテーマに応じて担当教員を派遣します。講師の相談や料金などの詳細については福島大学経済経営学類支援室にお問い合わせください。



- ①石川大輔
- ②マクロ経済学特殊研究Ⅰ・Ⅱ
- ③最先端のマクロ経済学に基づき、動学マクロ計量モデルの理論的な側面を学習します。同モデルを援用しながら、日本および世界のマクロ経済政策について議論します。

- ①今西一男
- ②社会調査Ⅰ・Ⅱ
- ③社会調査を用いて「まちづくり」の問題を発見できるようになります。社会調査のデータを使って、政策提案の第一歩を考えます。また、「まちづくり」や都市計画の実践的な課題について社会調査を活用して考えます。



- ①井上健
- ②計量経済学特殊研究Ⅰ・Ⅱ
- ③統計情報を活用して地域の現状を視覚化する方法を学びます。アンケート調査等の結果から、情報を抽出し、数値評価することができるようになります。

- ①垣見隆植
- ②地方自治法Ⅰ・Ⅱ
- ③地方自治における住民参加の仕組みについて学ぶことができます。国と自治体のあるべき関係について考えます。



- ①金善照
- ②特講(組織行動)、特講(ビジネス統計)
- ③リーダーシップについて紹介し、そのあり方について議論します。少数の経営幹部が主導権を握る従来型のリーダーシップではなく、近年、経営学で注目されている社員全員で補完し合うシェアード・リーダーシップについて検討します。

- ①岸見太一
- ②政治学原論、現代政治論
- ③民主政治に対する革新的な制度提案実施にあたっての課題を考えます。政治参加の歴史と現代の実践を学びます。市民の政治参加はなぜ重要なのかを考えます。



- ①沼田大輔
- ②環境経済学特殊研究、公共経済学特殊研究
- ③環境問題に経済学からアプローチする方法を紹介し、廃棄物・ごみの3R(減量・再利用・リサイクル)を促す仕組みを考えます。環境に関する施策、取組の効果測定の方法例を紹介し、紹介します。

- ①高橋準
- ②地域社会とジェンダーⅠ・Ⅱ
- ③自治体の内規等について、ジェンダー/セクシュアリティの観点で点検します。メディアの中におけるジェンダー/セクシュアリティを見る視点を身につけます。



- ①藤原遥
- ②地域政策論特殊研究Ⅰ・Ⅱ
- ③地方財政や、自治体における政策形成・評価に関する考え方や仕組み・方法を学びます。身近な環境問題から、環境に配慮した自治体経営のあり方を考えます。市民参加の方法を学び、市民目線で政策提案できるようになります。

- ①徳竹剛
- ②地域社会と歴史Ⅲ・Ⅳ
- ③地域の歴史や歴史資料を取り巻く状況や、それらを後世に継承する方法について学びます。地域住民にとって地域の歴史や歴史資料にどのような存在意義があるかを考えます。



- ①三宅本里実
- ②現代資本主義特殊研究Ⅰ・Ⅱ
- ③資本主義の歴史を、労働の視点から学びます。現代の環境破壊や人口減少について、社会構造から把握します。現代の若者が抱える労働問題や、AI等のテクノロジーによる今後の労働環境の変化について考えます。

- ①西田奈保子
- ②行政学Ⅰ・Ⅱ
- ③自治体と中央政府との関係を読み解く視点を学びます。また、災害行政と復興行政の仕組みと動態を学びます。統計分析や住民参加手法を活用して政策形成・まちづくりについて考えます。



- ①村上早紀子
- ②特講(地域企業経営)、特講(地域デザイン)
- ③地域経営について紹介し、地域企業や地域組織、両者を支える政策のあり方を、最前線の現場にフォーカスをあてて検討します。地域経営の持続的な発展のために求められる条件や仕組み、ネットワークを考えます。

- ①岩崎由美子
- ②社会計画Ⅰ・Ⅱ
- ③持続可能な地域社会形成に向けた社会計画の役割と課題について学びます。過疎・中山間地域における住民主体の地域づくりや行政支援のあり方、今後に向けた課題について考えます。

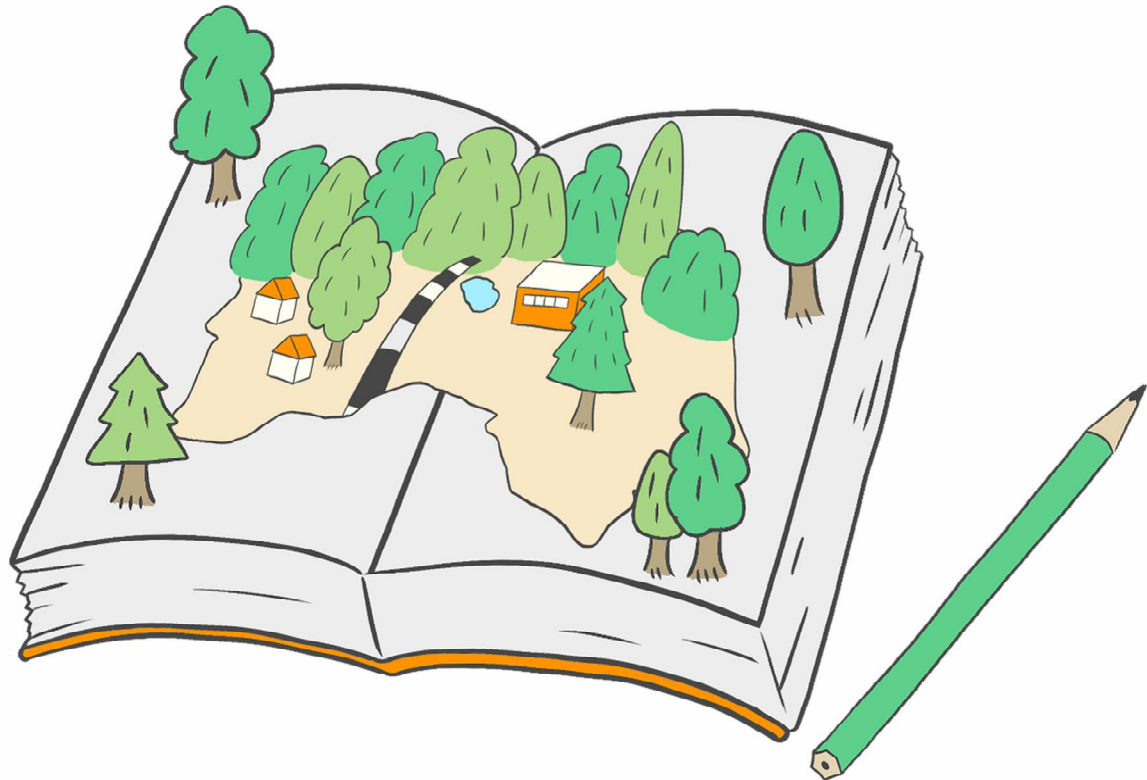


- ①吉田樹
- ②地域経済論特殊研究、地域交通論特殊研究
- ③交通まちづくりや観光地域づくりに関する計画手法に加えて、地域交通のリ・デザインやモビリティサービスの実装に向けた手法を学びます。RESAS産業連関表を用いた地域経済分析ができるようになります。

- ①名前
- ②担当科目
- ③出前講座の内容



地域では、その土地の特性を活かしながら、人々が生活や生業を営み、独自の文化や伝統、コミュニティ、歴史が築かれてきました。そうした地域の「根っこ」を捉え、先端的で学際的な研究から知見を得ながら、地域の新たなページを描き、未来へ紡いでいきませんか。



地域デザイン科学研究科 地域公共政策プログラム

大学案内・募集要項

福島大学入試情報サイトに掲載されている

「令和6年度 地域デザイン科学研究科(修士課程)案内」

「令和6年度 地域デザイン科学研究科(修士課程)経済経営専攻案内」

「令和6年度 地域デザイン科学研究科(修士課程)学生募集要項」

をご確認ください。

リンクはこちら <https://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>

問い合わせ先

地域公共政策プログラム・出前講座について

福島大学経済経営学類支援室

tel:024-548-8353 fax:024-548-3182

E-mail:keizai@adb.fukushima-u.ac.jp

入試について

福島大学入試課(経済経営専攻担当)

tel:024-548-8064

E-mail:nyushi@adb.fukushima-u.ac.jp

